

令和2年度事業報告

2020年6月12日～2021年3月31日

< 理念 >

- ・子ども達の為に残すべき財産里地里山
- ・産業によって人が得る利益を野生動植物に分配する社会

< 2030年中間目標 >

- ・専門性の高い業務にふさわしい給与を得る仕組みを作る
- ・里地里山ミュージアムの設立

< 会員・関係者の皆様へ >

2020年度は「先人の思いを引き継ぎ生物多様性文化の礎を築く」をスローガンに活動を行いました。本年を、2030年中間目標を達成する為の礎を築く年と定めて活動を行いました。南部町の里地里山を築いた2つの先人、農林業家と先に保全活動を始めた先輩たちに学び、思いを継承することを大切にしました。

任意団体から一般社団法人へ

6月に任意団体から一般社団法人になりました。任意団体の会員全員が一般社団法人の会員（社員）となりました。

沿革

年月	出来事
2019年12月2日	任意団体として里山生物多様性プロジェクトを設立
2020年6月12日	一般社団法人里山生物多様性プロジェクトを設立

会員数

2020年1月時点で会員は代表1人でした。2月に環境大学生の大生さんが加わり、その後、津森さん他3人の社会人が加わって4月の事業開始を6名の会員で迎えました。

9月に日野高校の白迫さんが加わったことで会員に高校生が含まれるようになりました。高校生が加わったことで社会的な責任が大きくなりました。

2021年3月13日の時点で当団体は高校生2人、大学生5人、30歳までの社会人が3人、30歳から49歳までの社会人が4人、50歳以上の会員が2人の計16人で構成されています。

#### 会員の構成

	人
高校生	2
大学生	5
30歳までの社会人	3
30歳から49歳までの社会人	4
50歳以上の会員	2
合計	16

#### 生物多様性に影響する直接要因への働きかけと成果

鳥取県の地域緑化活動育成支援補助金を獲得して荒地となった水田を生き物の集まるビオトープに変える活動を行いました。およそ1,000㎡の整備を行い、整備した場所で生物調査体験会を行いました。

整備作業と体験会に22人が参加しました。参加者の内訳は会員10人、いくらの郷から4人、ガイド他一般参加者が7人となります。



作業の様子



3月に行った観察会の様子

#### 生物多様性に影響する直接要因への働きかけとその結果

区分	項目	数	単位
直接要因	管理された二次的自然の面積	+1,000	m <sup>2</sup>
直接要因	管理された二次的自然の数	+1	箇所

## 生物多様性に影響する間接要因への働きかけと成果

鳥取県の鳥取県協働提案・連携推進事業補助金を獲得して、「南部町で野生動植物に係る体験会を行う為のガイドライン」を作成しました。来年度は作成したガイドラインを使って観光と環境保全を結び付ける実証事業を行います。

2020年12月19日から2021年1月17日まで環境省の主催するエコライフ・フェア2020onlineに出展しました。今年はオンラインで開催となった為に、出展することが出来ました。

2021年1月29日から2月28日を期間としてクラウドファンディングに挑戦しました。観光と保全を結ぶ体験会場を作る為に96人の方から160万500円のご支援を頂きました。

2021年3月26日に鳥取県地球温暖化防止活動推進センターからの依頼を受けてとっとり環境教育・学習アドバイザー研修会を行いました。zoomを使ってオンラインで参加できる自然観察会を行いました。



エコライフ・フェア2020online  
バーチャルブース



環境教育・学習アドバイザー研修会  
zoomで観察会の様子を配信

観光と保全を結ぶ、環境保全を感じる体験会場を鳥取県南部町に作りたい

野口浩二



クラウドファンディング

支援総額  
**1,597,000円** 目標金額 1,200,000円

支援者 募集終了日  
90人 2021年2月28日

プロジェクトは成立しました!

支援履歴の確認はこちら

シェア ツイート LINEで送る 音声で聞く

生物多様性に影響する間接要因への働きかけとその結果

区分	項目	数	単位
間接要因	保全に関係した人口※1	約100	人
間接要因	保全に関係した団体数	6	団体
間接要因	地域経済への効果※2	2,567,500	円

※1 クラウドファンディングでご支援いただいた方の数からおよそ100人としました

※2 本年度交付申請した補助金の総額にクラウドファンディングの支援額を足した金額を地域への経済効果としました

主な関係団体

	名称	関わり
1	鳥取県	
	緑豊かな自然課	補助金の交付
	県民参画協働課	補助金の交付
	観光戦略課	協働
2	南部町	補助金の交付
3	いくらの郷	作業協力
4	もりまきフィールドネットワーク	外部専門家

財源

2020年度は県の補助金を2つと町の補助金を1つ獲得して事業を行いました。一般社団法人の設立に係る費用は基金として代表の野口が支出しました。

交付申請を行った補助金の名称と金額

名称	交付申請額(千円)
地域緑化活動育成支援補助金	367
令和2年度鳥取県協働提案・連携推進事業補助金	300
南部町クラウドファンディング活用支援補助金	300
合計	967

## 会計

会計監査は会員の津森さんが行いました。

当法人は売上、費用共に現金主義を適用しています。

## 役員と役員報酬

理事	報酬の有無	補足
野口浩二	無	代表理事

## 役員が株主を保有するか役員を務める団体

名称	関係	当法人との取引有無
日本インタライツ株式会社	株主であり役員	無

## 会員へ支払った報酬

令和3年3月26日に行った体験会の講師料として4名の会員にそれぞれ7,000円を支払しました。当法人との間に雇用契約が無かった為、業務委託費に計上しています。

科目	金額 (円)
業務委託費	21,000
合計	21,000

## 決算

2020年度の売上は3,500円でした。これは、2020年1月29日から2021年2月28日を期間として行った購入型クラウドファンディングで法人の口座に直接振込があった分です。他の支援金はクラウドファンディングサービス **READYFOR** から令和3年4月10日に振り込まれる為、来年度に計上します。

販売費及び一般管理費**534,817円**を使って本年度の事業を行いました。財源は補助金**630,300円**になります。南部町クラウドファンディング活用支援補助金は令和3年4月15日の支払となる為、来年度に計上します。

一般社団法人を設立する為に掛かった法人設立費**111,500円**は、基金として代表の野口が拠出しました。当法人は定款の定めにより基金を受け入れる事ができます。

当法人は法人税法上の非営利型法人の要件を満たしていないので、法人税法上の普通法人にあたります。一月に満たなかった6月を切り捨てた9ヶ月分の法人町民税と法人県民税を計上しています。

代表の野口が支払を立て替えた**24,930円**を代表借入金として計上しています。

一般社団法人里山生物多様性プロジェクト

貸借対照表

2020年6月12日～2021年3月31日

(単位： 円)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	123,915
流動資産 計	123,915
資産 計	123,915
<b>負債の部</b>	
流動負債	
未払法人税等	53,200
代表借入金	24,930
流動負債計	78,130
負債 計	78,130
<b>純資産の部</b>	
資本	
基金	111,500
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	△ 65,715
その他利益剰余金 計	△ 65,715
利益剰余金 計	△ 65,715
計	45,785
純資産 計	45,785
負債及び純資産 計	91,570

損益計算書

2020年6月12日～2021年3月31日

(単位：円)

科目	金額
売上高	
売上高	3,500
売上高 計	3,500
売上原価	
当期商品仕入	0
売上原価 計	0
売上総利益	3,500
	販売費及び一般管理費
	販売費及び一般管理費 計
	534,817
営業利益	△ 534,817
【営業外収益】	
受取利息	2
補助金	630,300
雑収入	0
営業外収益 計	630,302
営業外費用	
【営業外費用】	
法人設立費	111,500
雑損失	0
営業外費用 計	111,500
経常利益	△ 12,515
税引前当期利益	△ 12,515
【法人税等】	
法人税・住民税及び事業税	53,200
法人税等 計	53,200
当期利益	△ 65,715



一般社団法人里山生物多様性プロジェクト

販売費及び一般管理費

2020年6月12日～2021年3月31日

(単位：円)

科目	金額(円)
業務委託費	334,000
宣伝広告費	5,000
旅費交通費	23,000
消耗品費	96,242
支払手数料	990
賃借料	66,000
保険料	9,585
販売費及び一般管理費 計	534,817